

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成26年度 第1回ジョンソン基地跡地利用計画審議会
開 催 日 時	平成 26年12月17日(水) 午後1時30分 開会、午後2時40分 閉会
開 催 場 所	入間市役所4階：大会議室
議 長 氏 名	関根栄一
出席委員(者)氏名	青山正一、安孫子学、岩井絹江、岩崎 茂、大賀志日出輝、 久原愛生、小鹿広美、駒月理人、澤田壽一、関根栄一、 高石直美、高橋康造、瀧 和之、豊泉一雄、吉川弘三
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	課長 長谷川芳明、副主幹 石井英寿
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会(議題(1)まで非公開) 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 委員紹介 5 事務局紹介 6 会長・副会長選任 7 会長・副会長あいさつ 8 諮問 9 議題 (1) 会議の公開等について ① 会議の傍聴について ② 会議録署名委員について (2) 留保地に関するこれまでの経過について(以下公開) (3) 今後の進め方について (4) その他 10 次回の日程 11 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	3名

配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 1 諮問書（案） ・ 資料 2-1 ジョンソン基地跡地利用計画審議会条例 ・ 資料 2-2 ジョンソン基地跡地利用計画審議会の会議の傍聴等に関する要領 ・ 資料 2-3 標準会議録作成要領 ・ 資料 2-4 ジョンソン基地跡地利用計画審議会委員名簿 ・ 資料 2-5 職員名簿 ・ 資料 3-1 留保地に関するこれまでの経過について ・ 資料 3-2 ジョンソン飛行場住宅地区処理状況図 ・ 資料 3-3 ジョンソン基地跡地利用計画審議会の中間答申（平成 11 年 9 月） ・ 資料 3-4 ジョンソン基地跡地留保地利用計画書（平成 20 年 6 月） ・ 資料 3-5 防衛省からの要請書（平成 26 年 9 月 18 日） ・ 資料 4 今後の進め方について（案）
事務局職員職氏名	企画部長 西勝啓祐、次長 加藤保夫、企画課長 長谷川芳明 主幹 横田京美、副主幹 石井英寿、主事補 齊藤正文
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

委員委嘱を行った後、会長・副会長を選任した。

会 長：関根栄一委員

副会長：吉川弘三委員

市長から諮問の後、次の議題について事務局から説明し、委員からの質疑を受け事務局が回答した。

- (1) 会議の公開等について
 - ①会議の傍聴について
 - ②会議録署名委員について
- (2) 留保地に関するこれまでの経過について
- (3) 今後の進め方について
- (4) その他

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>どうぞよろしくお願いします。それでは、議事に入ります。議事(1)「会議の公開等について」を議題とします。まず、①「会議の傍聴について」事務局に説明を求めます。</p>
長谷川課長	<p>会議の公開については、情報公開条例に基づき、基本的に「公開するもの」と定められています。ただし、例外的に、「公開することにより、会議の公正な運営に著しい支障が生じる場合には、審議会等の決定により公開しないこともできる」という規定もありますので会議の公開について決定していただきたいと思います。</p> <p>また、公開した場合のジョンソン基地跡地利用計画審議会の会議の傍聴等に関する要領を添付してございます。傍聴人の数は10人で、傍聴人の守るべきこと等が規定されております。なお、本日の申し込みは3人で、廊下で待機いただいております。公開となれば、議事(1)が終わった時点から傍聴いただきたいと考えます。</p>
関根会長	<p>事務局より説明がありましたが、公開することで、よろしいでしょうか。また、本日の傍聴については、議事(1)が終わった段階からということでもよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし、という声あり)</p>
関根会長	<p>ご異議ないようですので、本審議会は公開とし、本日は議事(2)から傍聴いただくことに決定します。</p> <p>続いて、②「会議録署名委員について」事務局に説明を求めます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
長谷川課長	<p>会議録の作成については、「標準会議録作成要領」に基づいて作成し、その署名は議長が行うものとなっております。ただし、必要な場合は、議長のほか、議長が指名した者1名以上が署名すると規定されております。もう1名署名することが良いと思いますので、署名委員を決めていただきたいと思います。</p> <p>なお、会議録は公開となっており、発言の内容のほか、発言者のお名前も会議録には掲載いたします。会議録は、市政情報コーナーで閲覧できるほか、市公式ホームページでも公開しますので、ご承知いただきたいと思います。</p>
関根会長	<p>議長のほかに1名以上ということですので、名簿順で最初の青山委員から順にお願いしたいと思います。ご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし、という声あり)</p>
関根会長	<p>議長のほか、青山委員を本日の会議録署名委員に決定します。その他、会議の公開について、事務局から何かありますか。</p>
長谷川課長	<p>会議で使用した資料や会議録のほかに、委員の皆様の名簿も公開することになります。お配りした名簿の役職欄に会長、副会長を追記して公開したいと考えますが、いかがでしょうか。</p>
関根会長	<p>氏名と所属の記載された名簿ということですが、この内容で公開されることに問題はございませんか。</p> <p>(異議なし、という声あり)</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>それでは、名簿については、本日配られた内容で公開されるということです。議事（１）「会議の公開について」について何か質問はありますか。</p> <p>（なし、の声あり）</p>
関根会長	<p>ないようですので、議事（１）「会議の公開について」は、終了といたします。議事（２）に入る前に、ここで、傍聴者に入室いただきます。</p> <p>では、続いて議事（２）「留保地に関するこれまでの経過について」を議題とします。事務局より説明を求めます。</p>
長谷川課長	<p>留保地に関するこれまでの経過について説明いたします。</p> <p>当審議会は、ジョンソン基地跡地の利用に向けた計画について審議いただく目的で設置されたものでございますが、既に基地跡地については、昭和６３年までに一定の処理が終わっているところであります。</p> <p>基地跡地としましては留保地と言われる未利用地が２か所ございまして、そのうちの東町側の留保地につきまして、本年９月に防衛省から取得の要請がありましたので、その対応について審議いただくために、これまでいわば休眠していました審議会を再度開催することになったものであります。</p> <p>さて、本日は、今後の審議に向けまして、基地跡地留保地について、なぜ、このような未利用地が残されているのか、また、今日に至るまで、どのような経過をたどってきたのかご説明をさせていただきます。</p> <p>最初に順序が前後しますが、資料３－２をご覧ください。ジョンソン飛行場住宅地区処理状況図ですが、こちらがジョンソン基地の跡地をどのように利用したかの図面です。この図のうち黄色の部分が留保地と言われる未利用地です。入間市と狭山市に２か所ずつございます。今回諮問した留</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>保地が右下の東町側です。</p> <p>それでは、資料３－１にお戻りください。始めに、資料に基づきまして、基地跡地が発生するまでの経過につきまして若干ご説明申し上げます。</p> <p>現在の入間基地に至る発端は、昭和１３年に当時の陸軍航空士官学校がこの地に設立されたことに遡ります。現在豊岡小学校の先にあります入間基地の修武台記念館の位置に学校の本部がありました。</p> <p>戦後には、米軍が進駐し、ジョンソン基地となりました。昭和２９年に航空自衛隊が発足後ジョンソン基地に部隊が展開し、昭和３３年に入間基地となりました。また、昭和３８年６月には飛行場地区について、米軍から返還され航空自衛隊の管理運営となりました。それにより、米軍の飛行場はなくなったわけですが、その後１０年間、住宅地区については米軍が使用し続けておりました。</p> <p>昭和４８年１月に日米安全保障協議委員会において、関東平野における合衆国軍施設の整理統合計画、関東計画といわれるものですが、これが合意されました。この計画は関東平野における米空軍の施設・区域を大幅に削減し、その機能の大部分を横田飛行場に統合するもので、返還の対象となった施設は、ジョンソン飛行場住宅地区のほか、府中空軍施設、キャンプ朝霞、立川飛行場ほかがありました。その結果、昭和４８年６月には、ジョンソン基地の大部分が返還されました。</p> <p>残っていた通信施設と笹井の水源地が返還され、全面返還となったのは、昭和５３年９月です。</p> <p>国においては、返還財産が大規模であるため、米軍提供財産の返還後の利用について国有財産中央審議会に諮問し昭和５１年６月に「米軍提供財産の返還後の利用に関する基本方針について」の答申がなされました。この答申では、返還財産の処理基準として、特別なものを除き、その面積をおおむね三等分し、一つが、地元地方公共団体などが利用する区域、もう</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>一つが国、政府関係機関などが利用する区域、そして残りが当分の間、処理を留保する区域、これが「留保地」と呼ばれる区域の始まりですが、この3区分とすることとされました。また、この際の処分条件としては、法令で優遇措置が定められている用途以外は、原則有償による処分でした。</p> <p>そうした動きを受け、ジョンソン基地の関係自治体として埼玉県、入間市及び狭山市により昭和51年1月にジョンソン基地跡地利用促進協議会が設立され、また、入間市では、昭和52年12月にこのジョンソン基地跡地利用計画審議会の前身であるジョンソン基地跡地利用計画協議会を設立し、利用計画案について審議を進めました。その結果、昭和56年6月に地元案に基づいた「ジョンソン飛行場住宅地区返還国有地の処理の大綱」が国有財産中央審議会で答申され、決定されました。</p> <p>資料3-2をご覧ください。こちらの処理状況図で、紫色が国利用、青色が地元利用、そして黄色が先ほど申しました留保地です。この三つの区分に分割し、国と地元の利用部分につきましては、処理が終わっております。</p> <p>入間市分で申し上げれば、国は自衛隊と当時の住宅都市整備公団、現在のURによる住宅、地元自治体として県が彩の森入間公園、入間向陽高校、県営住宅を、入間市では豊岡小中学校、東町小中学校、産業文化センター、児童センター、配水場、防災センターなどに土地を活用させていただきました。そしてこの図面の黄色の部分が当面使用しないとされた留保地です。東町側に28ヘクタール、入間市駅前側に7.6ヘクタールでございます。</p> <p>それでは、資料3-1にお戻りください。資料の下半分の部分になりますが、この留保地の取扱いにつきましては、昭和62年6月に国有財産中央審議会から「大口財産の留保地の取扱いについて」という答申が出まして、引き続き原則留保するものの、例外として公用・公共用には利用する方針となりました。これは、三分割に基づく利用が進んだことや、自治体</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>からの利用要望もあるということから、一切利用を認めなかったものから、必要性、緊急性が認められるものについては利用を認めることとしたものであります。</p> <p>この方針ののち、国からも利用に向けた検討要請が寄せられ、入間市では、平成8年11月にジョンソン基地跡地利用計画審議会に留保地の利用計画の策定を諮問しました。審議会からは平成11年9月に中間答申をいただいております。こちらは資料3-3としてお付けしております。内容の詳細につきましては、今後の審議会でご説明申し上げます。なお、中間答申までで審議会の活動は中断し、今日に至っている状況です。</p> <p>次に、平成15年6月になりますが、国の財政制度等審議会から、新たに「大口財産の留保地の今後の取扱いについて」の答申が出され、ここで留保地の利用方針の転換が行われ、原則利用の考え方に基づき留保地の活用を促進することになりました。具体的には、関係地方公共団体が5年程度の間に利用計画を策定してくことが求められました。入間市では、平成20年6月に、他の同様の自治体同様に利用計画を策定し、財務省に提出しました。こちらが資料3-4です。この時には、先ほどの資料3-3の中間答申を参考にしながら、整備構想的なものとしてまとめさせていただきました。こちらの計画につきましても、内容については今後の審議会でご説明申し上げます。</p> <p>計画提出後、市では財政的な事情もあり、具体的な計画実現に向けた動きに入ることにいたらず今日に至っております。そうした中で本年9月に防衛省から市に対して、東町側留保地を利用したい旨の申入れがあったものでございます。</p> <p>資料3-5をご覧ください。こちらが9月18日に届けられた防衛事務次官から市長あての要請書でございます。現在、この留保地は財務省が管理しております。この土地を防衛省が利用する場合には、国内部で財務省から防衛省に土地の所管替えをすればよいこととなりますが、留保地につ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>いては、説明しましたように、地元自治体の決めた利用計画に基づいて処理していくこととされていますので、入間市に対し了解を求めてきたというわけでございます。</p> <p>資料３－５について本文３行目から読み上げさせていただきます。防衛省では、平成２５年度に策定された防衛大綱及び中期防衛力整備計画を受け、航空自衛隊入間基地に隣接する留保地に大規模災害等への対応及び自衛隊病院の拠点化・高機能化の一環として、「災害対処拠点等施設」及び「新病院（入間病院（仮称））」の整備計画を有しております。</p> <p>これらの整備予定地である留保地については、財務省と整備計画や用地について協議を進めており、当該用地が大口返還財産留保地であることを踏まえ、今後、利用計画を有する貴市とも協議を進めてまいりたいと考えております。また、協議においては、ジョンソン基地跡地留保地利用計画（平成２０年６月）に十分配慮しながら進めていく所存です。</p> <p>貴市におかれましては、本整備計画の早期実現に向けて、格別のご配慮とご理解を賜りますよう、よろしくお願いします。</p> <p>市では、当審議会の審議を経て、国へ回答していくこととなります。</p> <p>以上、長くなりましたが、留保地をめぐるこれまでの経過の説明とさせていただきます。</p>
関根会長	<p>事務局の説明に対し、何か質問はありますか。</p> <p>（なし、の声あり）</p>
関根会長	<p>ないようですので、議事（２）「留保地に関するこれまでの経過について」は、終了といたします。</p> <p>では、続いて議事（３）「今後の進め方について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
長谷川課長	<p>それでは当審議会の今後の進め方について、ご説明いたします。</p> <p>資料4をご覧ください。会議につきましては、月1回の開催を予定しております。次回につきましては、1月中旬に東町留保地について現地の視察を行います。第3回につきましては、東町側留保地の利用方法についての市のこれまでの考えについて、審議会の間答申や利用計画に基づいてご説明をし、第4回会議で、今後寄せられる国からの情報に基づき、国の利用計画をご説明する予定です。それを踏まえまして、第5回会議以降で、国の意向に対し、市の取るべき対応について審議検討をいただくこととしたく存じます。資料では、7回の会議を示しておりますが、審議の状況により、前後することもあるかとも思います。</p>
関根会長	事務局の説明に対し、何か質問はありますか。
高石委員	内容を戻っての質問で申し訳ありませんが、現在の入間基地の中に病院はあるのですか。
澤田委員	ありません。診療所もありません。
高石委員	分かりました。では、新しく作るのですね。
関根会長	ほかにありませんか。
澤田委員	<p>ジョンソン基地跡地留保地利用計画書に書いてあることを、ここで審議することは、何の意味もないことだと思う。新たに財政状況等を踏まえて作りたいものを議論するのであれば分かるが、利用計画書の内容を議論しても時間が無駄なので、よりスムーズな審議の進め方を事務局で考えていただきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
長谷川課長	<p>現在、国に提出してあるのが、この利用計画書でこのほかに計画は持ち合わせておりません。構想的な内容ではありますが、これが本市の計画として、今日まで至っているところでございます。そのような中で、国から要請を受けたわけですが、市の利用計画の説明はいたしますが、これに替わる計画を策定するということは考えておりません。諮問にもあったように、今ある利用計画を踏まえた上で、国からの要請に対してどのように回答していくかを審議いただくことを考えております。内容につきましては、時間の無駄にならないように進めたいと考えております。</p>
澤田委員	<p>今の説明の中で、国と言っているのは「防衛省」だと思うが、正しく使い分けていただきたい。</p>
長谷川課長	<p>そのように対応させていただきます。</p>
高橋委員	<p>平成20年の市の利用計画には緩衝緑地ゾーンがあるのに対して、防衛省からの要請書では触れられていませんが、その辺の話はあったのでしょうか。</p>
長谷川課長	<p>現時点では、この要請書以上の情報はいただいている状況ですが、今後、そういった内容も含めて提供されると思いますので、その時にご説明できると思います。</p>
関根会長	<p>ほかになれば、議事（3）「今後の進め方について」は、終了いたします。続いて議事（4）「その他」ということですが、事務局で何かありますか。</p>
事務局	<p>特にありません。</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>委員の皆様から何かありますか。</p> <p>(なし、の声あり)</p>
関根会長	<p>ないようですので、議事については、以上となります。次第9の次回の日程については、事務局でお願いします。</p>
石井副主幹	<p>次回の日程を説明いたします。さきほど、今後の進め方でご説明させていただいたとおり、次回につきましては、東町留保地の視察を行います。</p> <p>日程につきましては、委員の皆さんに1月13日（火）、14日（水）のどちらが都合がよいか希望日をお聞きしたところ、14日の方が多かったため、14日とさせていただきます。視察には留保地を管理している関東財務局に立ち入る者の名簿を付けて申請し、許可を得る必要がありますので、時間につきましては、既に希望時間帯を皆さんにお伺いしているところですが、関東財務局から指定される時間に合わせて開始時間を設定させていただきます。一度、市役所にお集まりいただいて一緒に現地まで行きたいと考えておりますが、詳しくは、あらためて通知させていただきます。</p> <p>なお、次回の傍聴に関してですが、留保地の視察ですので、次回に限り、傍聴の受付は行いませんので、申し添えます。</p>
関根会長	<p>では、次回は視察ということですので、よろしくお願いいたします。それでは、これを持ちまして第1回のジョンソン基地跡地利用計画審議会を終了します。お疲れさまでした。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

27年 1月 9日

議 長 の 署 名

関根栄一

議長が指名した者の署名

青山正一